

2022



九州医療センター

vol.15

2022.3.4



ホッとニュース



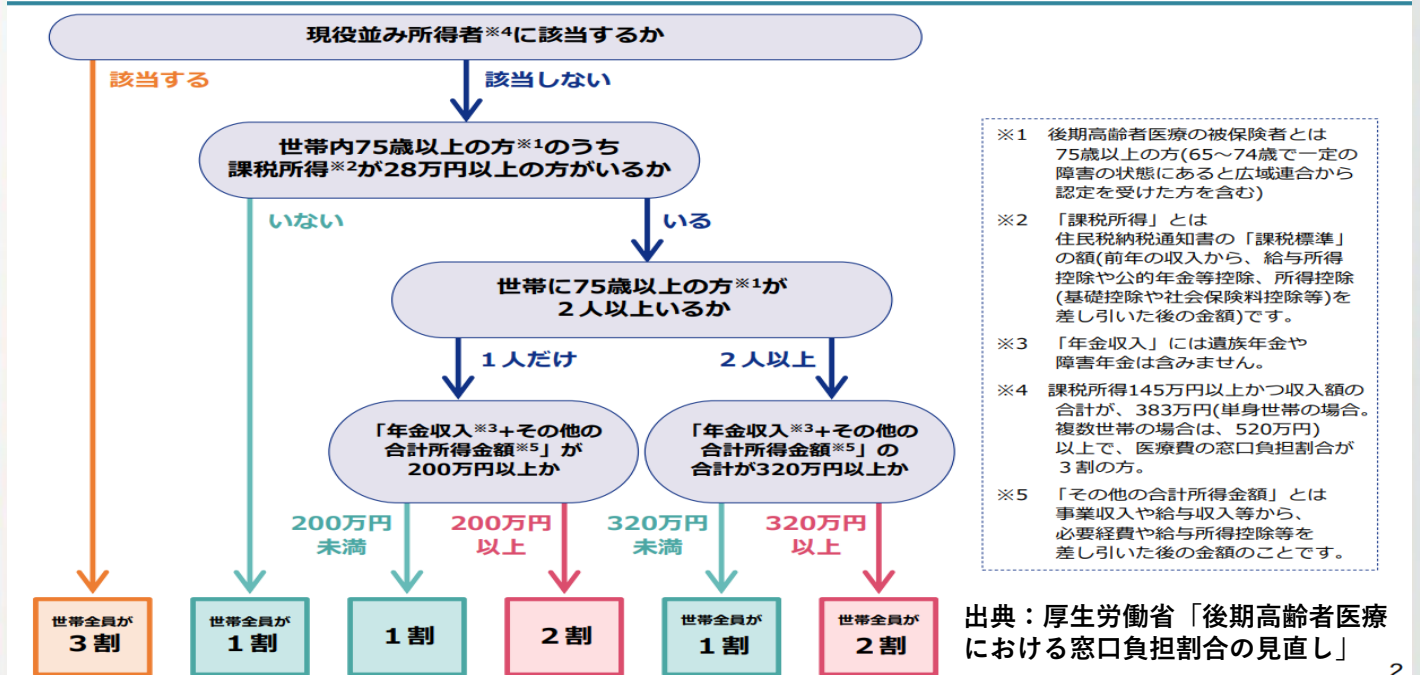
3月に入りましたが、今年もよろしくお願いたします！

昨年も新型コロナウイルスに翻弄された一年となりました。今年に入っても新規感染者数の増加やブレイクスルー感染が指摘されています。これからも、マスク着用（咳エチケット）や手洗い、ゼロ密、換気、黙食などできる限りの感染対策を目指しましょう！今月号では、「後期高齢者医療費負担増！」と「HIV以外の医療費はいくら掛かる？」について解説します。

後期高齢者医療費の2割負担が決定！

2022年から、団塊の（他の世代に比べ人口が極端に多い）世代が後期高齢者（75歳以上）となり、社会保障費（医療・年金等）の増加が避けられません。そこで、現役世代（主に20歳～60歳）の社会保険料上昇を少しでも減らす目的で、10月より一定以上（下記画像参照）の所得のある後期高齢者の医療費負担は、1割から2割に増加されることが決定しました。

窓口負担2割の対象となるかどうかの主な判定の流れ



☆ポイント☆

- 2022年から窓口での医療費自己負担が2割に増えるのは、①**所得金額が200万円以上（月：約16万円）の単身**後期高齢者、②**後期高齢者が2人以上**いる世帯で**合計所得金額が320万円以上（月：約26万円）**
 - 緩和措置（3年間）：2025年までは窓口負担割合引き上げに伴う、負担増加額は月額3000円までとなります。
- ～MSWからのメッセージ～

これからも日本の少子高齢化は進む一方です。そのため、今回のように社会保障費負担は重く給付は少なくなる事が予測されます。（社会保障費は2020年度106兆円30年前より2.6倍、重度医療費助成制度等に所得制限・・・etc）対策として前回のホッとニュースでは、健康管理について取り上げました。今回は、「お金（医療費）」についてお伝えします。人生100年時代になりました。本記事のように少子高齢化が進む限り現役世代が負担している社会保障費はどんどん増大し私達が自由に使えるお金は減っていく一方だと考えられます。だからこそ人生100年時代「お金（医療費）」についても積極的に学んでいくことが必要かもしれません。

HIV以外の医療費はいくら掛かる？

日本は国民皆保険制度で、国民全員が健康保険（社会保険）に加入しています。健康保険には、ひと月毎の医療費自己負担限度額（高額療養費制度、限度額適用認定証）があり、実際にHIV以外の医療費はいくら掛かるのかシュミレーションをしてみました。

区分	総所得金額等	直近の過去12か月の高額該当3回目まで	4回目以降
ア	・901万円以上 ・標準報酬月額83万円以上	252,600円+(医療費-252,600円)×1%	140,100円
イ	・600万円超901万円以下 ・標準報酬月額53万～79万	167,400円+(医療費-558,000円)×1%	93,000円
ウ	・210万円超600万円以下 ・標準報酬月額28万～50万	80,100円+(医療費-267,000円)×1%	44,400円
エ	・210万円以下 ・標準報酬月額26万円以下	57,600円	44,400円
オ	・市民税非課税者、世帯	35,400円	24,600円

出典：九州医療センター
地域医療連携室
医療・福祉・介護制度活用ブック

～医療費シュミレーション～



～解説～

①健康保険証における医療費自己負担上限額が、57,600円（図.区分：エ）のA君が（HIV似関連しない治療で）入院しました。②入院費の治療費総額が100万円でした。A君は3割負担の健康保険証を提示し、30万円を支払いました。③高額療養費の申請を行うと差額分（30万円-57,600円）の約24万円が後日還付されます。

※年齢や所得により、医療費の自己負担上限額は異なります。制度の詳細は下記QRコードを読み取りご確認ください。



福岡市医療費が
高額になったとき



協会けんぽ
高額療養費



福岡県後期高齢者広域連合
医療費が高額になったとき

～医療費節約のためのポイント～

高額な治療が予想される場合は、事前に限度額適用認定証を発行することをオススメします。

☆職員紹介☆

2021年3月からAIDS/HIV総合治療センターに新しい仲間の心理療法士**淵上（フチガミ）**さんです！

◎ストレス発散法

週に1回、自分の好きな甘いものを1つ買って食べる。コンビニスイーツが多いですが、和風・洋風どちらも好きで、選ぶのも楽しんでいます。

ストレスはあまり溜めないようにして、イライラや疲れを感じた時には、その都度発散する、早めに休むようにしています。

◎患者さんへの一言

以前は精神科医療に携わっておりました。これまでの経験を活かし、皆様のお力になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

今回久しぶりの発行となりました。すでに2022年も3月に入りましたが、毎月「ホットニュース」を発刊することが今年の目標です。

MSW(O)